

時間割コード	G3D25202	開講年度	2026				
授業題目	ハングル中級Ⅱ【EA】					担当教員	延 鎮淑
英文授業名	Korean: Intermediate LevelⅡ						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	各地学部高年次
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当 備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	日常生活が出来、辞書を引いて小説や随筆が読めるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	作文を提出してもらい、韓国語の作文に一般的によく表れる誤り（語彙の使い方、助詞の使い方、連語の使い方など）を一緒に考えていく。 授業は、eAlpsを通したe-learning形式で行われる一週間は以下のように進みます。 a)教科書解説 b)課題の提出 ・指定した日にちまでにeAlps上にて提出。 ・締め切りを過ぎた場合は、減点する。 c)課題の返却と解説 ・次回課題アップまでに返却する。						
(5)授業のキーワード	韓国語 文字 発音 基礎文法 文化 異文化間コミュニケーション						
(6)授業計画	1)ガイダンス 2)依頼/勧誘・アドバイス 3)理由・根拠 4)推測 5)かしこまった尊敬/不可能 6)時間・場合 7)傾向/同時・並行動作 8)事柄 9)間接話法 10)間接話法の過去 11)間接話法の縮約形 12)過去回想連体形 13)結果・発見 14)状態の変化 15)まとめ（授業アンケートへの回答） 16)期末試験						
(7)成績評価の方法	毎回提出する課題 8 割 期末試験 2 割						
(8)成績評価の基準	秀：授業で示した文法や表現を応用してネイティブに近いような作文が出来る 優：授業で示した文法や表現を応用して高レベルの作文が出来る 良：授業で示した文法や表現を応用してやや難しい作文が出来る 可：授業で示した文法や表現を応用して簡単な作文が出来る						
(9)事前事後学習の内容	授業の内容確認のためのワークをeALPSにアップする。それに解答すること。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	人文学部以外で木曜日5限の受講ができない学生対象 ハングル中級Ⅰの成績が不可の場合は、受講は認めません。						
(11)質問、相談への対応	メール：yeonjin@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	「学修の補充の対象とする事由」に該当する場合であっても、3回を超えて課題を提出しない場合は、授業の達成目標に到達するまでの教育の質を担保することができないため、単位認定はできません。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により期限内に課題を提出することが出来ない場合は、申出てください。						
【教科書】	金玉順・阪堂千津子・崔栄美 『ちょこっとチャレンジ！韓国語《改訂版》』,9784560017920, 2017年,2640円						

【参考書】	特になし
-------	------